第2回 技術者倫理事例研究発表会

（2020年6月）

募集要項（Ver.2）

12月23日修正（一部記述修正、末尾表追加）

公益社団法人日本技術士会　中部本部倫理委員会

1. 主旨

中部4県の技術士及び技術者等に、技術者倫理の実践・研究・教育活動の発表の場を提供することにより、技術者倫理の理論と実践の向上と改善に寄与する。また、技術士・技術者等の、倫理に関する発表力・発信力の研鑽を図ることにより、技術者倫理の啓発を促進する。

1. 募集要項
2. 実施日　2020年6月14日（日）午後（詳細未定）
3. 場所　　名古屋市内（詳細未定）
4. 応募要件
   * + 1. １．「主旨」に該当する内容であること。
       2. 応募は1人1件に限る。複数での共同発表も可能。ただし共同発表も1件の発表とみなす。
5. 応募方法

（以下、審査後に受理された原稿のみを「論文」と呼び、それ以外は全て「原稿」と呼ぶ。）

* + - 1. 「応募用紙」（様式1）に必要事項を記入し、チェック済みの「応募前チェックシート」（様式2）、及び原稿をメール添付し、当委員会セミナー窓口に提出する。

　　メールタイトル：「2020中部倫理発表会申込（ご氏名）」

　　セミナー窓口アドレス：cet-seminar@googlegroups.com

* + - 1. 応募原稿は4頁とし、「論文執筆要領＆テンプレート」（様式3）に従い、できるだけテンプレートを使用して作成する。（テンプレートを使用できない場合も、様式が同じになるよう作成する。）

1. 審査
   * + 1. 審査は一次審査と最終審査があり、どちらも審査委員会が応募された原稿により行う。
       2. 審査委員会は、当倫理委員会委員のうち応募者でない委員5～7名で構成する。※1

（※1．倫理委員の研鑽機会の確保のため、当倫理委員会委員の発表も受け付ける。）

* + - 1. 一次審査では、応募された原稿を、**ａ：受理可能**、**ｂ：要修正**、**ｃ：拒絶** の3水準で評価する。審査委員会は、この結果を応募者に通知する。
      2. 一次審査で評価**ｃ**：拒絶の場合でも、審査委員会が審査結果を通知した日から2週間以内に、「再審査申請書」（様式4）とともに、見直した原稿等必要書類等を提出することにより、再審査を申請することができる。

この場合、受理して10日以内に3名以上の審査委員会委員によって再審査する。この再審査結果は確定し、再び**ｃ**：拒絶となった場合、それ以上の再審査は行わない。

再審査でｂ以上となった場合、次項(6)査読・修正で利用できる査読サービスの回数は、その後1回を上限とする。

* 1. 最終審査は、応募者により提出された最終原稿を審査し、**Ａ：「発表論文」**、**Ｂ：発表には及ばない「論文」**、**Ｃ：拒絶**の3水準で評価する。

1. 査読サービス
   1. 一次審査の結果通知から最終原稿提出期限までの間、2回に限り査読サービスを利用できる。※2
   2. 査読サービスは、論文の質の向上を図ることを目的として行うもので、経験や知識に基づいて論文指導にふさわしい倫理委員が統括責任者となり、応募者でない倫理委員の協力を得て行う。

（※2．査読サービスの利用者数にもよるが、1回の査読に2週間程度要すると見込まれる。そのため、最終稿提出期限まで2～3週間を切った時期の提出原稿は、最終的に査読できなかったり、事前に査読を断ったりすることがある。）

1. 発表会
   1. 5～7件の発表、発表時間：20～30分、質疑応答：5分程度を予定している。※3
   2. 発表会では、発表者の論文（Ａ：「発表論文」）と、審査で論文と認められたもの（Ｂ：発表には及ばない「論文」）を配布する。※4,5
   3. 発表者に限り、希望があれば論文の他に参考資料（軽微なものに限る）の印刷配布にも応じる。

（※3．優秀発表や優秀論文の表彰を行う予定は無い。

※4．論文等の著作権は応募者に属する。ただし、当日の配布物については、形式上の修正に限り、  
　　　応募者に相談なく主催者が行うことがある。）

※5． ホチキス止めした論文を配布する。「発表会論文集」様の冊子は作成しない。）

1. 発表者の講演料・交通費、及び参加費
   1. 発表者に限り、講演料として5,000円（支給時には税額を差し引く）、及び交通費を実費支給する。（当日現金払い）
   2. 発表者にも、当日の発表会参加費を規定通りお支払い頂く。※6

（※6．技術士会会員：1,000円～2,000円、非会員：2,000円～4,000円を予定。）

３．全体スケジュール概要

2019年 12月4日(2日付) 発表者募集

2020年 2月29日(土) 応募締め切り（審査委員会を組織する）

3月 8日(日)頃 一次審査

3月9日頃～ 一次審査結果の通知、査読サービス実施（2回まで）

4月24日(金) 最終原稿提出期限

4月29日～5月7日 最終審査：発表者確定（発表会開催案内を広報）

6月 9日(火) 発表会での配布物（軽微なもののみ）受付締切

6月14日(日) 発表会（PPTでの発表）

以　上

**応募から発表までの流れ**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 期日、期間 | 応募者 | | 倫理委員会 | 期日、期間 |
| 応募 | 2020年  2月29日  締切 | 契約 (RTL)　チェックリスト  応募用紙　 チェックシート  （様式１） （様式２）  ドキュメント  **原稿**（テンプレート様式３） | | 倫理委員会セミナー窓口  cet-seminar@googlegroups.com |  |
| 一次審査 | 3月8日頃 | 評価結果  .a b 　　 　 c  査読サービス　　　再審査可 | | 審査委員会  評価 a受理可能  　　b要修正  　　c拒絶 | 結果通知  3月9日以降 |
| 再審査請求 | 結果通知から  2週間以内 | 契約 (RTL) ドキュメント  再審査請求書　**原稿**  （様式４） | | 審査委員会    評価 a受理可能  　　b要修正  　　c拒絶⇒以降なし | 受理後  10日以内に  再審査 |
| 査読サービス | 3月9日  ～4月29日 | ドキュメントドキュメント | a,bの  修正原稿  ドキュメント | 審査委員会が選任する  査読者 | 3月9日  ～4月29日 |
| 最終原稿提出 | 4月29日 | ドキュメント  最終**原稿** | | 審査委員会 |  |
| 最終審査 | ～5月7日 | A:発表会にて発表＋論文配布  B:発表会で論文配布  ⇒A:発表スライド作成 | | 発表者確定  評価 A:発表**論文**  B:発表に及ばない**論文**  C:拒絶  （発表会開催案内を広報） | 4月29日  ～5月7日 |
| 配布物受付  期限 | 6月9日 | 発表会で配布する論文とは別の軽微な追加資料（Aのみ） | | 倫理委員会 | 6月9日 |
| 発表会 | 6月14日 | A:発表（PPTなどスライド） | | 技術者倫理事例研究発表会 |  |